

●わが社のCSR活動

北陸電話工事グループのCSR活動

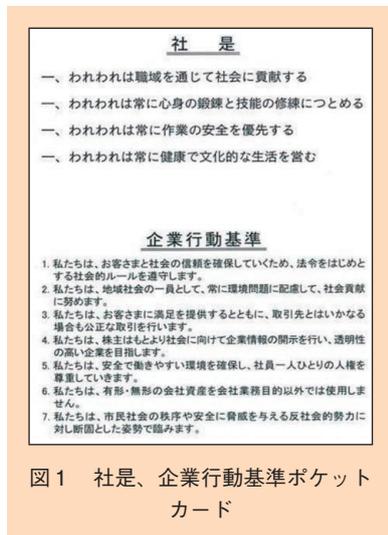
北陸電話工事株式会社



1. はじめに

北陸電話工事グループは、「社是」の最初に「われわれは職域を通じて社会に貢献する」と掲げ、さらに北陸電話工事グループ社員1人ひとりの行動原則となる「企業行動基準」には、「私たちは、地域社会の一員として、常に環境問題に配慮して、社会貢献に努めます」と定めて「企業を取り巻くステークホルダー（利害関係者：お客様、取引先、投資家、社員及び社会全体）」に満足していただけるように努め、企業の社会的責任（CSR）を果たすことにグループ一丸となって取り組んでいます。

このために社是と企業行動基準はポケットカード（図1）にして社員全員に配布し、事業活動を通じてCSR活動の推進を図っています。



2. コンプライアンスへの取り組み

(1) コンプライアンス委員会

社長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置するとともに当社にはコンプライアンス管理室を、子会社にはコンプライアンス推進担当を設置してコンプライアンス委員会が当社グループのコンプライアンスを統括する体制としています。

コンプライアンス委員会では、コンプライアンス違反発生時の調査報告と再発防止策、コンプライアンス推進にかかわる事項を審議、決定し、実施状況を把握し、必要なフィードバックを講じています。

(2) コンプライアンスマニュアル

北陸電話工事グループの企業行動基準に基づき、北陸電話工事グループの社員が守らなければならない順守事項を社会、お客様・取引先、株主、社員、会社財産の項目ごとにまとめたコンプライアンスマニュアルを定めています。

(3) コンプライアンス研修

新入社員に対しては入社時に、北陸電話工事グループ社員に対しては毎年1回、全社員を対象としたコンプライアンス研修を開催しています。内容はコンプライアンスに取り組む意義、コンプライアンス違反事例とその影響を説明し、コンプライアンス順守の意識付けを行っていま

す。また、アンケートにより研修効果や職場の状況を把握し、フィードバックを実施しています。

(4) コンプライアンス標語

毎年、コンプライアンス意識の浸透・定着のためにコンプライアンスに関する標語を募集し、優秀作品を選定し、表彰するとともに、標語カレンダーを作成して各事業所で掲示しています。

3. 統合マネジメントシステム (IMS)

北陸電話工事グループは、「品質マネジメントシステム (ISO9001)」、「労働安全衛生マネジメントシステム (OHSAS18001)」、「情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC27001)」の3つのマネジメントシステム規格を統合した「統合マネジメントシステム」を構築し、運用しています。

統合マネジメントシステムの方針としては、「責任ある仕事に徹し、お客さまの信頼を得る」を基本理念に、「安全衛生、情報セキュリティの確保と品質の保証を徹底し、お客さまに満足のいただける製品とサービスを提供する」を行動指針としています（図2）。

統合マネジメントシステムでは、年度当初に北陸電話工事グループが取り組むべき年度事業運営方針を定めています。

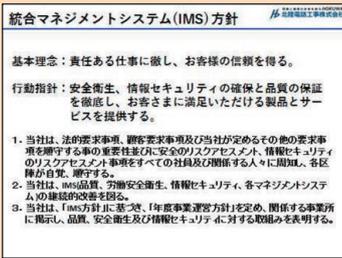


図2 統合マネジメントシステム方針

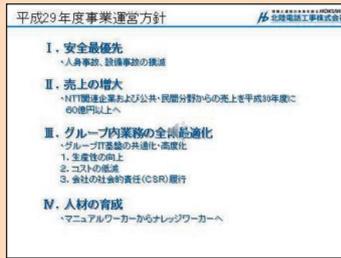


図3 年度事業運営方針

平成29年度は安全最優先、売上の増大、オペレーションの最適化、人材の育成を柱とし、オペレーションの最適化の中に会社の社会的責任(CSR) 履行として安全衛生・品質保証・情報セキュリティの向上、内部統制システムの効果的運用を方針として設定しています(図3)。

各組織では事業運営方針を受けて自組織が実施する年度事業運営施策活動計画を策定して目標を設定(Plan)します。その後、各組織では計画した施策を実施(Do)し、四半期ごとに目標の達成状況を分析・レビュー(Check)を行い、改善(Action)する仕組みとしています。

4. 情報システム活用によるCSRの着実な履行

CSR(企業の社会的責任)を着実に履行するために各種の情報シ

ステムを活用していますので、ご紹介いたします。

(1) 安全の確保に向けた2Wayコミュニケーション

当社では毎日多くの工事班が各地で工事を行っており、安全作業の基本動作を徹底するために2Wayコミュニケーションを実施しています。2Wayコミュニケーションとは、現場作業者と当社の事務所とで双方向通信によって安全動作の確認を行うことをいいます。

労働安全衛生規則では、事業者は高所作業車を使って作業を行う時はあらかじめ作業場所の状況を確認して作業計画を作り、作業者に周知しなければならないこととなっています。このためNTT西日本様とNTT空間情報様の協力を得て道路の傾斜状況が地図上に表示されるシステムを導入しました。

道路傾斜情報をオーダーと一緒に作

業者に作業計画書として周知することにより作業者は事前に工事場所付近の状況を確認し、適切な駐車場所の決定やバケット車の進入経路を決めることができます。

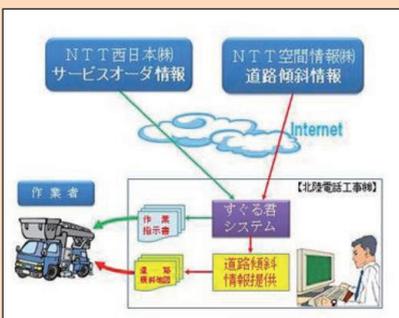
したがって、確実に前下がりで駐車することができ、現地でUターンをすることもなくなり、安全で効率的な作業を行うことができます。工事当日は、工事班は工事場所に到着して、角度計確認、輪止めを行い、保安施設を設置して携帯電話で各々の写真を撮り、事務所に送信して電話をし、両方で傾斜地図や写真により基本動作の確認をしています。

これにより、前下がり駐車、輪止めの密着設置、保安設備による第三者保護の証跡を残すとともに、当社と協力会社が一体となって最前線での事故防止に取り組んでいます(図4)。

2Wayコミュニケーションに加えて、事業運営方針に沿った安全施策活動により北陸電話工事グループと協力会社の社員1人ひとりが安全活動に取り組んだ結果、NTT西日本様より、平成28年度上期ならびに下期の無事故達成に対して感謝状を授与されました。

(2) 電話番号照合システムによる誤接続防止

ユーザ系の開通工事でのメタルお



(傾斜情報表示システム)



(傾斜情報の表示)



(写真と対話による現地動作確認)

図4 2Wayコミュニケーション

よび光回線の電話番号照合システムを導入して誤接続を防止しています。

他システムからの開通工事情報をサーバに取り込み、工事班が工事実施後にお客様の電話機から試験用電話番号でサーバに発信するとサーバからコールバックがあり、ガイダンスされる番号がお客様の電話番号であることにより確認しています。

これにより従来は工事班が携帯電話でお客様の電話と発着信試験を行っていましたが、携帯電話料金の削減につながるるとともに試験証跡の記録ができ、1回の発信動作で試験ができるために効率的になっています。なお、本システムはNTT西日本様の標準システムとして採用され、西日本全域に展開されました(図5)。

(3) ペーパーレス化による資源節約
サービス総合工事のユーザ工事でのオーダー票と保守受託業務の作業指示書については、ペーパーレス化してコスト削減とセキュリティの向上を図っています(図6)。

ユーザ工事では各事務所に設置したWi-Fiルータを通じてHHC(Hand Held Computer)端末に自工事班のオーダー票と関連する情報を社内システムから一括ダウンロードし、工事に携行して参照しています。ダウンロードしたオーダー票等の情報は24時間経過すると自動的に削除されるようになっています。また、工事従事者の利便性を考慮してオーダー票の情報についてはファイルを開かなくても記事欄を見られるようにし、移動中にお客様に連絡したり、重要な指示等を確認したりしています。

保守受託業務では、宅内保守もアクセス保守も113や116等からの作業指示書を各事務所に設置されたWi-Fiルータを通じてタブレット端



図5 電話番号照合システム

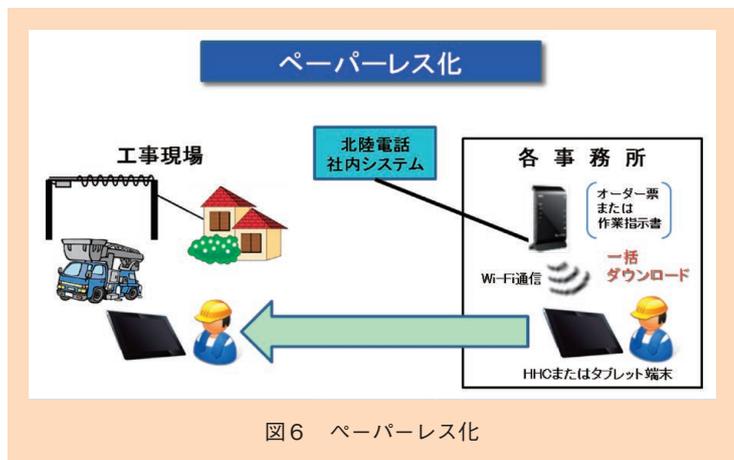


図6 ペーパーレス化

末に一括ダウンロードして工事に携行し、参照しており、ペーパーレス化しています。

また、アクセス保守では出来高の入力や現場状況の写真撮影もタブレット端末からでき、作業日報もペーパーレスにし、設備110番の報告書もタブレットで入力が可能です、この報告書もペーパーレス化となっています。

今後もペーパーレスとなる業務を拡大するように努めていきます。

5. ワークライフバランスへの取組み

仕事と生活を共存させながら、持っている能力をフルに発揮し、それぞれが望む人生を生きることを目

指すワークライフバランスについては、業務効率化によって生産性の向上を図り、労働時間の削減と有給休暇取得の推進を通じて健康や生活の充実に配慮した職場づくりを図っています。

具体的には、全社統一的に「ノー残業デー」を設定して徹底を図るとともに、「PCモニタリング(出退勤確認システム)」を平成29年7月から順次導入しています。

「PCモニタリング」は、社員が出勤時にPC(パソコン)を起動した時刻と退勤時にシャットダウンした時刻を自動的にシステムに登録し、管理者が社員ごとの登録された出退勤時刻を一目で確認でき、サービス残業や長時間労働の防止を徹底する

ものです(図7)。

また、部外の講師を招き、全管理職(特に部下を持つ現場第一線の管理職)を対象とした「働き方改革実践講座」を企画し、ワークライフバランスの必要性や成果があった企業の取り組み事例を紹介し、各職場での問題点や自分が抱えている悩み等をディスカッションして社員の意識改革、職場風土の改善を図っていきます。

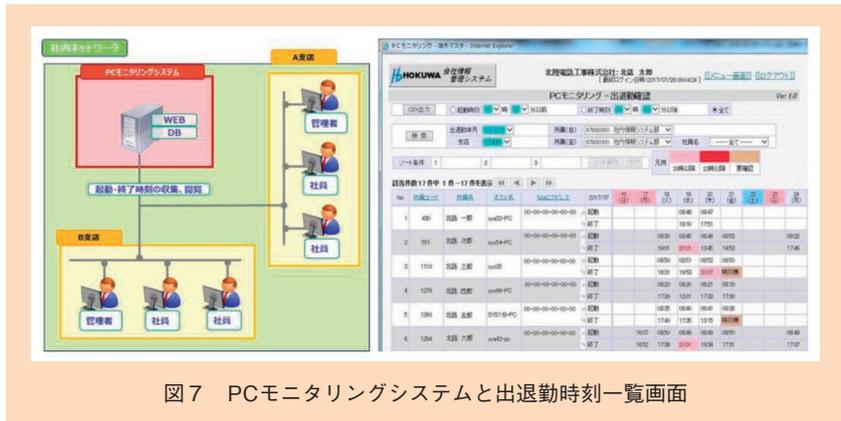


図7 PCモニタリングシステムと出勤時刻一覧画面

6. 女性活躍推進およびダイバーシティ浸透の取組み

女性が活躍できる職場の環境、女性の活躍する領域の拡大が企業、社会には必要不可欠との認識のもと、平成28年度は、情報通信エンジニアリング協会主催の「女性座談会」、「全国女性技術者交流会」に参加するとともに、女性社員の能力開発、キャリア形成の支援のため、社外の各種研修を6名の女性社員が受講し、視野の拡大と職場で力を発揮するためのスキルを身に付けました。

さらには、多様なバックグラウンドを持つ社員が職場において働きがいを感じて活躍してもらえるように新

入社員、入社3年目社員、係長クラス、課長クラスの各階層の研修に「ダイバーシティ研修」を取り入れています。「ダイバーシティ研修」の中では個人々人を尊重し、個人々人の違いを活かし、能力を最大限に発揮することを学んでいます。

7. 地域イベント等への参加

北陸電話工事グループは地域に根差し、地域社会に愛される企業でありたいと願い、スポーツを通じて地域社会と積極的に関わりを持つ取り組みとして、「北話バスケット部」、「ホクワランナース」、フットサル同好会「ホクワ」を結成し、各種大会に

出場し、地域社会の皆様との交流を深めています(図8)。

8. おわりに

以上、北陸電話工事グループが取り組んでいるCSR活動についてご紹介しました。

今後ともグループ総体として経営の効率化、安定化を図り、安全衛生の確保と品質の向上、情報セキュリティの確保に努めるとともにコンプライアンスの順守によりステークホルダーからの信頼を維持しつつ北陸電話工事グループの社会的責任を果たしていきます。



図8 地域イベントへの参加